



News Release

令和3年7月8日

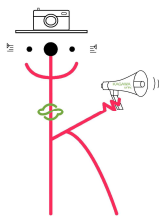
「海洋科学の未来とレジリエンスサイエンスシンポジウム」 の開催について

私たちは海から非常に多くの恩恵を享受しています。一方で、海は地震や津波を発生させるリスクを内在しており、時として我々の生命を脅かす存在になりえます。

そのため、我々の生活を豊かかつ安全安心にするには、海洋と共存していく必要があります。については地震や津波あるいは高潮等の海洋に関わる自然災害と海洋環境変動に向き合い、その被害軽減や環境保全のための海洋科学研究や減災科学ならびに人材育成に取り組む必要があります。

本シンポジウムでは海洋環境（海洋プラスチックごみ等）ならびに地震、津波及び高潮等、海洋科学に関する未来像と減災科学（レジリエンスサイエンス）の展望について議論します。

1. 日 時 令和3年7月21日（水）10:30～17:00
2. 会 場 香川大学幸町キャンパス研究交流棟6階第1講義室、YouTube 配信



➤ お問い合わせ先
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 藤澤
TEL : 087-832-1651
FAX : 087-832-1668
E-mail : fujisawa.kazuhito@kagawa-u.ac.jp

海洋科学の未来と レジリエンスサイエンス シンポジウム

令和3年 **7/21 (水)** 10:30~17:00
(開場 10:00)

香川大学 幸町キャンパス
研究交流棟6階 第1講義室
(香川県高松市幸町1-1)

オンラインで同時配信

開会挨拶 10:30 - 10:40
寛 善行 (香川大学長)

セッション1 地震津波分野 10:45 - 11:55
座長: 金田 義行 (香川大学)

- ・馬場 俊孝 氏 (徳島大学)
「遡上に着目した確率論的津波ハザード評価」
- ・鈴木 亘 氏 (防災科学技術研究所)
「MOWLASデータを活用した津波即時予測技術」
- ・有川 太郎 氏 (中央大学)
「データベースを活用した津波避難支援システムの構築」
- ・堀 高峰 氏 (海洋研究開発機構)
「海域リアルタイム地殻活動モニタリングとプレート境界固着・すべりの現状把握・推移予測」

セッション2 海洋環境分野 13:00 - 14:10
座長: 長谷川 修一 (香川大学)

- ・末永 慶寛 (香川大学)
「AIを活用した水産資源生産力向上技術の開発」
- ・石塚 正秀 (香川大学)
「河川を流れる微細マイクロプラスチックの調査と分析」
- ・中西 正光 氏 (香川県)
「かがわの里海づくり」
- ・田村 芳彦 氏 (海洋研究開発機構)
「西之島の2020年噴火について」

セッション3 レジリエンスサイエンス分野 14:20 - 15:30
座長: 野本 粹浩 (香川大学)

- ・高橋 成実 氏 (防災科学技術研究所)
「リアルタイムデータを用いた防災への利活用」
- ・野田 利弘 氏 (名古屋大学)
「2016年熊本地震における阿蘇カルデラ陥没メカニズムについて
～地層不整形性・軟弱粘性土・連発地震に着目した数値解析から～」
- ・床桜 英二 氏 (徳島文理大学)
「小規模漁村集落における安全・安心なまちづくりの探求
～徳島県伊座利集落を例に～」
- ・高原 耕平 氏 (人と防災未来センター)
「減災社会はどこへ向かおうとしているのか？」

セッション4 学生分門 15:40 - 16:50
座長: 磯打 千雅子 (香川大学)

- ・上谷 政人 氏 (徳島大学大学院 創成科学研究科)
「津波データベースを用いた帰帰モデルによる津波浸水予測」
- ・田中 健太郎 (香川大学 創造工学部)
「リスクと共存する社会のあり方に関する考察-事例調査より-」
- ・土田 真愛 氏 (愛媛大学大学院 理工学研究科 博士後期課程修了)
代読: 亀山 真典 氏 (愛媛大学)
「上盤プレートの力学的性質によって誘起されるプレート沈み込み帯ダイナミクスの多様性に関する2次元数値シミュレーション研究」
- ・林 伸二郎 氏 (高知大学大学院 人間自然科学研究科)
「降雨が蛇籠擁壁に与える影響に関する基礎的研究」

閉会挨拶 16:50 - 17:00
吉田 秀典 (四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長)

海洋科学の未来とレジリエンスサイエンスシンポジウム

-Future of Marine Science and Resilience Science-

私たちは海から非常に多くの恩恵を享受しています。一方で、海は地震や津波を発生させるリスクを内在しており、時として私たちの生命を脅かす存在になりえます。

私たちが海と共存していくためには、いったい何が必要でしょうか。

本シンポジウムでは、最新の地震・津波の研究や、海洋環境の展望について議論します。

参加申込について

会場でご参加の方

定員20名（先着順）

下の参加申込書により、E-mailまたはFAXで事前にお申込みいただき、

香川大学 幸町キャンパス
研究交流棟6階 第1講義室
(香川県高松市幸町1-1)

までお越しください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のことにご留意ください。

- ・会場に入る前に検温を実施します。37.5℃以上ある場合は入室をお断りさせていただきます。
- ・マスク着用、手指消毒にご協力ください。
- ・接触確認アプリ（COCOA）のインストールをお願いします。
- ・会場の密集を防ぐため、定員を20名とさせていただきます。

※ご来場の際は、近隣のコインパーキングか公共交通機関をご利用ください。

※定員を超過した場合は、別途ご連絡させていただきます。

オンライン配信でご参加の方

YouTube配信 定員無制限

1. 下記URLの参加フォームからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/BkygkYNIeG>



2. お申込み完了の通知メールが自動で送信されますので、ご確認ください。

3. 後日、参加用のURLをメールにて送付致します。ご確認の上、ご参加ください。メールが届かない場合、下の問い合わせ先にご連絡ください。

※配信はYouTubeを利用して行います。お手持ちの機器や通信環境でご利用可能か事前にご確認ください。

※ネット回線等の状況により、配信の乱れや停止が発生する場合があります。

※フォームからのお申込みが難しい場合のみ、下の参加申込書をご利用ください。

参加申込書

お申し込みの際は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FaxまたはE-mailにてご連絡くださいますようお願いいたします。ご記入いただく個人情報につきましては、当機構のセミナー等に使用し、これ以外の目的で利用することはありません。

参加方法

会場に参加する

オンライン配信で参加する

氏名

所属

電話番号

E-mail

申込締切

7/16

金

お問い合わせ・お申込み先

香川大学

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

〒761-0396 香川県高松市林町2217-20

TEL : 087-864-2544 FAX : 087-864-2549

E-mail : kikikanri@kagawa-u.ac.jp